

人間植物関係学特論（二）（2単位）

担当者氏名 山口裕文・木村正典

◆学習・教育目標

人間と植物との関係の歴史的発展過程を踏まえて人間と植物との関わりの持つ福祉機能の知識と活用のための理論を体系的に学ぶ。観賞植物、雑草を含む景観植物、香源・ナルコティクス植物、儀礼植物など癒し植物を具体的な事例として、民族文化比較を加えつつ人々の生活に関わる多様な植物の持つ癒しとやすらぎの効用を知り、これらの植物の健康促進や生活の質の向上への活用の理論と手法を理解する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

人間植物関係学 _____ 園芸学 _____ 民族植物学 _____ 生物文化多様性 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	人間植物関係性の発展と歴史	人間と植物の関係性の発展過程、競争・共生・共存関係の歴史	人間と植物の関係性の発展過程を整理し、植物要素ごとに福祉機能、癒しやすらぎの機能について、問題提起しながら検証・討論する。特に準備すべき事項はないが、各テーマと内容に沿った情報提供および意見交換ができるように各自で情報収集しておくこと。
2	自然景観・人工景観による福祉	森林セラピーとあぜ道のもつ癒し、草遊び	
3	観賞・庭園・景観植物による福祉	花、みどり、ガーデニング	
4	ナルコティクス植物による福祉	嗜み料、飲料、陶酔	
5	香源植物による福祉	香料香辛料植物、東西香り文化	
6	民家庭園とホームガーデンにおける福祉	緑陰樹、落葉、果物の季節	
7	儀礼・宗教植物による福祉	仏花、祝花、供花の多様性	
8	園芸植物による福祉	野菜、観賞植物、果樹	
9	ハーブと人との関わりの歴史	ハーブと人との関わりの発展過程、共存関係の歴史	
10	ハーブによる福祉	クラフト、ティー、料理、アロマセラピー	
11	都市農業と福祉	都市農業の多面的機能と将来展望	
12	都市緑化と福祉	公園、街路樹、公共空地	
13	コミュニティガーデンと福祉	コミュニティガーデン、市民農園、園芸ボランティア	
14	建物緑化と福祉	屋上緑化、壁面緑化、屋内緑化	
15	植物栽培と福祉	植物を作ることの多面的機能および将来展望	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

教科書は特に指定しない。参考書：、資料を紹介する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

副読本：バイオセラピー学入門（講談社）、園芸福祉入門等

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

毎回提出するレポートにより評価する（100点）

◆その他受講上の注意事項